



今富っ子

小浜市立今富小学校
平成30年12月6日
=12月号=

創立120周年記念写真を 撮影しました



今富小学校は一二〇年前の明治三十一年に、府中の寧靜学校、和久里の研才学校、湯岡の学知学校、尾崎の立志学校の四校が一つになり、和久里に今富尋常小学校ができたのが始まりです。昭和十八年に、台風二二号により、校舎が大被害に遭いました。昭和六〇年に「全国体力づくり研究発表会」を開催しました。この年から一輪車パレードが始まり、本校の伝統として六年生に今も受け継がれています。現在ある校舎が全て完成したのは、平成四年になります。

今年で一二〇周年を迎え、子ども達による人文字をつくって、記念に航空写真を撮影しました。

五年生が中心となり、縦割りの班ごとに移動して人文字をつくります。その間、教職員はできるだけ口を挟まず、五年生のリーダーとしての動きを見守ります。五年生一人一人が人文字の図面を持ち、緊張しながらも生き生きとした表情で指示を出し、全校児童を動かしています。図面を見ながら先導する子、立つ位置を指示する子、立つ位置を微調整する子、立つ位置の最終確認をする子、五年生がとも頼もしく見えました。そんな中、困っている五年生に、「何か困っている？」と声をかける六年生の姿もありました。家庭・地域・学校の三者が連携して、一二〇年の長きにわたりの育んできた「今富っ子」のステキな姿がそこにありました。

五年生の指示により全校児童で完成させた人文字が、上の写真です。

ご意見・ご感想をお聞かせください。

〈キリトリせん〉

お名前 ()

校長の 独り言



『チアダン』として映画にもなったJETSの公演がありました。その際、顧問の五十嵐裕子先生（映画では女優の天海祐希さんが演じられました）とお話する機会を得ました。五十嵐先生は、「技術指導はほとんど行わない。徹底して指導するのは、『いつも（笑顔）で』『感謝（の心を常に持つ）』『の二つです』と話されました。その理由は、部活動を通して、チアダンスのスペシャリストを育てることではなく、辛いことや苦しいことがあっても、へこたれずに乗り越えていける人を育てること（人としてどう生きるかを教えること）を目的としているからだそうです。ですから、福井商業高校チアリーダー部の輝かしい結果に対しても、「生徒達の頑張りのおかげで・・・」「まわりの人の協力のおかげで・・・」と常に謙虚に話をされます。その姿勢に人としての魅力を感じずにはいられませんでした。

スボ少であれ、中学・高校・大学の顧問であれ、指導している以上、子ども達によい結果を出させてあげたいと願うのは指導者として当然です。同じように応援する親も、よい結果を望むのもよく分かります。しかし、それは人生のほんの一瞬にしか過ぎません。その後の人生の方がはるかに長いのです。子ども達が、地に足をつけて人生を歩んでいけるように、結果にこだわり過ぎたり、よい結果が出るまで有頂天になり過ぎたりする大人にはなりたくないなあと思います。

と言っている私は、指導者として、そして親として自分自身を振り返ると、お叱りかしい限りです・・・。



『レモンリーフ』です。アメリカの花屋さんがこの呼び方をはじめたそう。葉の形がレモンに似ていることから名前がつけられたと言われています。

『レモンリーフ』の花言葉は「さわやかな風」です。先日のJETS公演。演じているときはもちろん、練習中も笑顔。顔を合わせると「ありがとうございます」と常に笑顔であいさつ。JETSメンバーのおかげで、今富小学校に「さわやかな風」が心地よく吹いた一日でした。

えっ！まさか？
こんな有名な先生が・・・!?

PTA教育講演会が12月15日（土）に開催されます。みなさん、知っています？講師の「鈴木みゆき先生」のこと。リズムよくユーモアいっぱいのお話で、落語ファンから叱られるかもしれませんが、「落語を聞くよりおもしろい」と評判の先生です。NHK「みんなのうた」「おかあさんといっしょ」に詩の提供をしておられます。「楽しかった」と思える講演になかなか出会えない昨今、他県の保護者の間では「楽しい」と大評判の先生なんですよ。



福井商業高校
チアリーダー部
JETS公演

文責；山名 聡